

宇部興産中央病院 広報紙

# たんぽぽ

*tanpopo*

モミジの竹林

2019年10月

Vol 95号



## 糖尿病週間行事2019



糖尿病血液内科 診療科長  
井本 忍 医師

11月14日は世界糖尿病デーです。この日を含んだ1週間（月～日）が全国糖尿病週間で今年では55回目になります。全国各地で糖尿病に関する講演会や健康相談、街頭での広報活動などが行われ、各施設ではブルーサークル、ブルーライトアップなどの装飾やイベントも予定されています。今年のテーマはサルコペニア・フレイルです。サルコペニアとは加齢や病気などにより筋肉量が減少し、筋力低下や身体機能の低下が起こることを言います。フレイルとは加齢に伴い健康から介護を要する状態に身体機能が低下する途中の状態を言います。簡単に表現すると“虚弱”でしょうか。ロコモとも同義でしょうか。どちらも高齢になって起こる体の変化ですが糖尿病の方は健康な方よりも起こりやすく十分注意が必要です。糖尿病で食べ過ぎに気をつけていたら体重が減ってしまい、むしろ体力低下を来してフレイルになってしまう方を時に経験します。あなたはサルコペニア・フレイルに当てはまるでしょうか？サルコペニア・フレイルにならないようにするためにはどうしたらよいのでしょうか？是非この機会に考えてもらえればと思います。

当院でも11月14日（木）に院内で糖尿病週間

行事を行います。今年のテーマである『サルコペニア・フレイル』の話だけではなく予防するための実践運動療法も企画しています。また例年同様今年も病院玄関入り口で血糖・血圧などの身体計測や健康相談を行いますし、食事や糖尿病に関するポスターや展示物も掲示しています。毎年人気の病院食の食事会もあります（要予約）。食事後の各グループ対抗クイズもありますので更に盛り上がりそうです。

食事や運動に関する考え方も少しずつ変わってきています。通院の方だけでなく、最近病気の事が気になる方、健康に興味のある方は是非お立ち寄り下さい。近隣の皆様のご参加もお待ちしております。



**みんなに伝えよう！**

**糖尿病の正しい知識と予防・治療**



# 優秀賞受賞！

## 第51回日本医学教育学大会

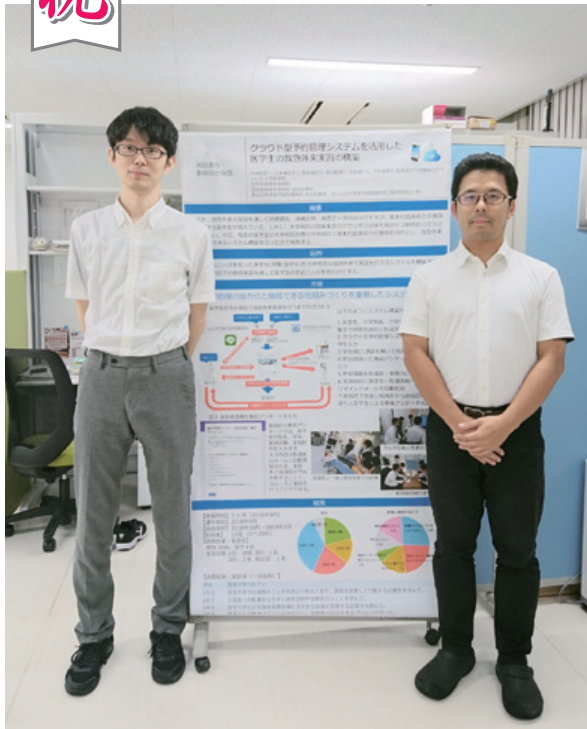
テーマ：クラウド型予約管理システムを活用した  
医学生の救急外来実習の構築

大崎崇正、原賀健一、下川純希、松本翔子、齊藤裕之

### 【第51回日本医学教育学学会に参加して】

宇部興産中央病院 研修医 原賀 健一

このたび令和元年7月に京都で行われました日本医学教育学学会において、当院救急外来夜間当直帯においての山口大学医学生の実習受け入れ体制構築に対する発表をさせていただきました。自分自身、学生時代から当院救急外来に出入りをしておりました。その試みを継続的にまた多くの学生に対する発信を目的としたシステムを学生・研修医主導で行ったことを今回は評価していただいたようです。当院の皆様のお力添えなくては達成できなかったことで、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。また機会がありましたら学生・研修医教育にご協力いただけましたら幸いです。



原賀健一先生(左)、山口大学医学生 大崎崇正さん(右)

### 【優秀賞を受賞して】

山口大学医学部医学科5年 大崎 崇正

初めての学会、初めてのポスター発表でこのような賞をいただくことができるともうれしく思っています。先生方に熱心に指導して頂きなんとかやり遂げることができました。当日は臨床実習後客観的臨床能力試験 (Post C.C. OSCE) のため会場に行くことができなかったことが悔やまれます。しかし、後輩がしっかりと発表してくれたおかげで今回の賞をいただくことができたと思います。

始めた当初は学会での発表を全く考えていませんでしたが、いい取り組みだから発表してみたらいいと言ってくれたこと、本当に嬉しかったです。これからも様々なことに挑戦するだけでなく、しっかり形にしていくこと、伝えて、広げていくことも臆せず取り組みたいと思えるとてもいい経験になりました。

## 糖尿病週間行事

11月14日(木) 糖尿病週間行事をおこないます。  
本年度のテーマは、「サルコペニア・フレイル」です。

- <内容> 9:00～10:45  
無料簡検査(体重・血圧・血糖測定) 健康相談  
管理栄養士による食事アドバイス  
自己血糖測定器点検
- ①記念講演会と運動療法(10:45～11:30)  
②糖尿病食試食会(12:00～13:30)  
(試食会は事前申し込みが必要です)



(昨年の糖尿病週間の様子)

血糖値が気になられる方、健康について相談されたい方お気軽に参加ください。  
たくさんの参加をおまちしております。



# 一日ナース体験

令和元年8月14日(水)「一日ナース体験」を実施しました。

中学生・高校生が地域の病院で看護師の体験学習をすることで看護への関心と理解を深め、体験を通じて看護師となる夢を描く契機とし、次世代の看護職員発掘につなげることを目的として、毎年8月の第2水曜日に開催されています。今年は、中学生11名・高校生4名と多くの参加がありました。

「一日ナース体験」は憧れのナース服に着替え、病棟で看護師と一緒に行動します。

看護師の仕事を実際に見て、聞いて、患者さんと触れ合うことを体験します。中学3年生の一人にナース体験で印象に残ったことを聞くと、「患者さんが笑顔で話してくれたことが嬉しかった」と楽しそうに話してくれました。その体験が看護師になるきっかけに繋がります。学生を担当した看護師は、看護の仕事に興味を持ち将来看護師を目指してもらおうと“看護の魅力”を一生懸命伝えていました。その熱意は学生に伝わり、「やりがいのある仕事だとわかった」「看護師を目指したい」など嬉しい感想をたくさんいただきました。

将来は地域の皆さまのために宇部興産中央病院で活躍していただけることを期待しています。



## 地域医療連携セミナーについて

今年度 ケアコミュニケーション講座を3回に分けて院内外の医療関係者を対象に講座を開催しています。

講師はオーブ パーソナリティオフィス代表 松原淳子さん  
第2回目は9月12日(水)「相手を受け入れる」というテーマで、クレーム対応についてポイントをお話いただきました。参加者は院内外で70人。

第3回は11月7日(木)アサーション「自分も相手も大切に作る表現」についてです、医療関係者の皆さまのご参加をお待ちしております。



## CS向上委員会

今年度の職場CS活動では宇部興産中央病院保育所「ひまわり園」の児童が「えがおのじぶん」をテーマに描いた絵を飾っています。

心あたたまる「えがお」が伝わってきます。



## ♪ 日本フィルハーモニー交響楽団 ♪ ふれあい・たんぽぽコンサート

昨年は台風の影響で急きょ中止となりましたが、今年は予定どおり10月12日(土)に開催しました。2階では患者さんを対象に、また8階レストランでは住民の方を対象に弦楽4重奏のコンサートでした。ヴァイオリン、チェロ、ヴィオラと素晴らしい弦楽器での豊かなハーモニーに皆さんうっとりとして聴き入っておられました。



### 【病院理念・方針】

いつでも誰でも安心してかかれる中央病院  
常に使命感を持ち協調して行動する中央病院

- 一、医の倫理と良心に従い、より良い医療の提供と医療安全に努めます。
- 一、患者さんの生命の尊厳と権利を尊重し、患者満足度の向上に努めます。
- 一、地域の中核病院として関係する地域医療・福祉機関との連携に努めます。
- 一、経営の健全化と職員満足度の向上に努めます。

発行：地域医療支援病院

医療法人社団

 宇部興産中央病院 地域連携室

宇部市大字西岐波750番地 TEL (0836) 51-9421

印刷：重度障害者多数雇用事業所(有)リベルタス興産